

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【馬宮中学校】

## 学力向上 アクションマップ

①	<b>今年度の目標と学力向上策</b>
重点的に育成する 資質・能力	本年度の研究主題である「学びを将来につなげるキャリア教育の推進～主体的に考え、選択し、行動する生徒の育成～」を核とし、基礎・基本の確実な理解と定着を図る。そのために、授業における振り返りや学習計画の見直し時間を一層充実させ、生徒が自ら学習状況を把握し、学び方を調整できる力の育成を目指す。また、教員がICTの活用や課題設定の工夫を行うことで、生徒の粘り強く課題に向き合う態度を養い、継続的に学習へ取り組みむ力を高める。さらに、課題である文章の構成や展開に着目して考える力を育成するとともに、協働的な学びを通して多様な考えに触れながら思考を深め、主体的に学ぶ姿勢の定着を図る。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	・生徒が自身の学習過程を振り返り、到達度や課題を踏まえて学習計画を見直す時間を設定する。【毎授業・適宜】 ・朝学習を年間を通して継続的に実施し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学習習慣の確立につなげる。【適宜】 ・ワークシートやレポート等の作成を通して、資料や根拠に基づいた表現活動を行うとともに、ICTの活用によって学習状況の可視化や課題提示を行う。【毎授業・適宜】 ・対話的、協働的な学習場面を授業ごとに設定し、多様な考えに触れながら思考を深めるとともに、単元ごとに学習成果を振り返る機会を設ける。【毎授業・単元ごと】

⑤	<b>年度末評価</b>	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	<b>全国学力・学習状況調査結果の分析</b>	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月) ↓ 結果から考えられる 児童生徒の実態	

④	<b>さいたま市学習状況調査結果の分析</b>	
特徴的な結果	↓ ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業	
結果から考えられる 児童生徒の実態		

③	<b>中間評価</b>	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	↓ 学力向上策の 見直し

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)